

ヨーヨー・マ リサイタル 2010



Programme

- E.モリコーネ：ガブリエルのオーボエ（映画「ミッション」より）
- G.ガーシュウィン：前奏曲第2番
- C.マリアーノ：クリスタル
- J.ブラームス：チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 op.38
- G.フィトキン：L
- S.ラフマニノフ：チェロ・ソナタト短調 op.19

ピアノ
キャサリン・ストット

チェロ
ヨーヨー・マ

Kathryn Stott (pf.)

Yo-Yo Ma (vc.)

2010 11/8 (月) PM6:45開演 愛知県芸術劇場コンサートホール 5/29(土) AM10:00~発売開始!

主催：中京テレビ放送 S ¥20,000 A ¥17,000 B ¥14,000 C ¥9,000 学生 ¥3,000(税込)
企画・運営：中京テレビ事業

お問い合わせお申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**
〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)

★WEBでも受付!★
中京テレビ事業

<http://cte.jp>

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。
※未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。 ※プログラム内容等変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

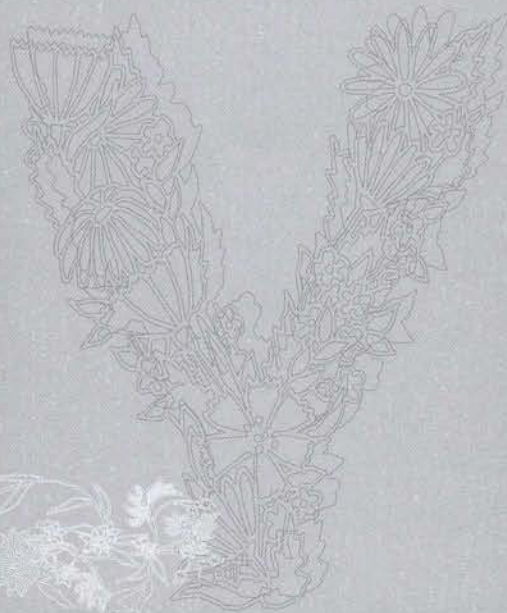
チケットぴあ (Pコード:102-857) 0570-02-9999
愛知芸術文化センターPG 052-972-0430
ローソンチケット (Lコード:40721) 0570-084-004
イープラス eplus.jp
栄プレチケ92(旧三越PG)、中日SC、他 有名プレイガイド

世界のスーパースター

ヨーヨー・マ 待望のリサイタル!

2005年愛・地球博、2009年オバマ大統領就任式での演奏など、“クラシック界の…”というよりはますます“世界の超セレブ・スーパースター”というべき活動で注目を集め、タンゴやブラジル音楽、シルクロード・プロジェクトなど、このところ演奏の面でもさまざまに幅を広げてきたヨーヨー・マ。今回は、待望のリサイタル・プログラム(名古屋ではなんと10年ぶり!!)が聴ける!ピアノに長年のパートナー、キャサリン・ストットを迎え、ラフマニノフ、そしてブラームスのチェロ・ソナタほかがじっくりと楽しめる構成。

相変わらず超多忙なヨーヨー・マ、2010年も日本での演奏が聴けるのは東京・川崎、そしてここ名古屋のたった3回きりという貴重なチャンス。ヨーヨー・マが奏でるチェロ芸術の真髄を存分にご堪能ください。絶対に聴きのがせない!!



ヨーヨー・マ (チェロ)

Yo-Yo Ma (vc.)

中国人を両親としてバリーで生まれ、4歳からチェロを学ぶ。間もなく一家でニューヨークに移り、音楽家ヨーヨー・マの形成にとって最も重要な数年間を過ごした。その後はジュリアード音楽院でレナード・ローズなどに師事。音楽だけでなく一般的・伝統的な教育科目の教育を受けることを望んだ彼はハーバード大学でも学んだ。

彼は協奏曲、独奏、室内楽などの通常の演奏活動のほか、振付師のマーク・モリスや歌舞伎の坂東玉三郎などと共演、J.S. バッハの無伴奏チェロ組曲の映像化・舞台化に挑戦するなど、新たな分野にも取り組んできた。

また彼の目標の一つはコミュニケーション手段としての音楽、世界中の文化の垣根を越える思想の交流の手段としての音楽の追求である。そしてこの方面への関心をさらに深めたヨーヨー・マが創設したのが「シルクロード・プロジェクト」である。これは古代の貿易路シルクロード沿いの地域の伝統的な文化・芸術の研究を推進させようという試みである。このプロジェクトが主体となり文化的・教育的プログラムが生まれ、シルクロード各国を代表する音楽家により結成された「シルクロード・アンサンブル」は、ワシントンD.C.で行われたスミソニアン・フォーク・ライフ・フェスティバルをはじめ、世界中で数多くの音楽祭、コンサートに出演している。また以前放送されたNHKスペシャル「新シルクロード」では彼が音楽監督を務めた。2006年は1年間を通して、シカゴで集中的に演奏会、ワークショップ、講演、ファミリー・プログラムなどコンサート会場のみならず、美術館や街中等で繰り広げられた「シルクロード・シカゴ」を行った。

彼が今までに出した80枚を超えるアルバム(グラミー賞を獲得したアルバム多数含む)は彼の幅広い興味、関心を反映している。ボビー・マクファーリンとの「ハッシュ」、M. オコナー、E. メイヤーとの「アバラチア・ワルツ」、他に「ヨーヨー・マ プレイズ・ピアソラ」「オブリガード・ブラジル」「ヨーヨー・マ プレイズ・モリコーネ」「ヨーヨー・マ&フレンズ ソング・オブ・ジョイ&ピース〜喜びの歌」などジャンルを超越した録音でも成功を収めている。

楽器はヴェネツィアのモンタチャーナ(1733年)と、ダヴィドフ・ストラディヴァリウス(1712年)の2台のチェロを受用している。

キャサリン・ストット (ピアノ) Kathryn Stott (pf.)

イギリス、ランカシャー生まれ。ユーディ・メニューイン音楽院にてウラド・ペルルミュテールおよびナディア・ブーランジェに学ぶ。その後ロンドン王立音楽院を卒業、1978年のリーズ国際ピアノ・コンクール入賞から国際的な活躍が始まった。これまでにサイモン・ラトル、チャールズ・グローヴズ、オッコ・カム等の指揮者や世界各国のオーケストラと共演、室内楽奏者としてはマイケル・コリンズ、トゥルルス・モルク、ジャニース・ヤンセン、小川典子等と共演を続けているが、特にヨーヨー・マとは数多く7度の来日公演で共演している。

多くの著名な現代音楽の作曲家たちから曲を提供されている。最近ではコンセルト・ボウがフィットキンに委嘱した新作のピアノ三重奏曲の初演も行ったのを始めとして、マイケル・ナイマン、マックスウェル＝デイヴィス、ポール・シェンフィールドらの作品を初演。前述のフィットキンは更に「二つのピアノのためのサーキット」を小川典子と初演。批評家に絶賛され、日本でもたびたび演奏されている。

録音はフォーレのソロ・ピアノ全作品集、ドビュッシー、ラヴェル等多くのフランス音楽や、ジョン・ファウルズ作品集や「マラゲーニャ」「タブー」で知られるラテン音楽のレクオーナなどのピアノ曲、ナイマン、マックスウェル＝デイヴィス等多くの現代作品。他にもケラン、シュルホフ、カバレフスキーのピアノ協奏曲、ディーリアスの作品集(小川典子とのデュオ)。ヨーヨー・マとはグラミー賞を受賞した「ソウル・オヴ・タンゴ」のほか、フランスの作品集「バリ〜ベル・エボック」、ブラジル作品集「オブリガード・ブラジル」(グラミー賞受賞)などがある。

1995年にはフランス音楽を広めた業績が認められ、芸術文芸シュヴァリエ勲章を授与された。また、ロンドン王立音楽院の教授としても活躍している。

一人娘、ルーシーとマンチェスターに住み、コンサートや録音から離れた貴重な時間には、モノクロ写真の収集とイタリア語を学ぶ。

